

ADDRESS VOICE No.28

～君の瞳にチップイン！僕は恋の暫定球号～

ADDRESS PLUS
Total Service Centre

〒921-8147 金沢市大額1-342-3

TEL.076-298-8585(代) FAX.076-298-7665

URL:http://www.adrs.co.jp/ E-mail:office@adrs.co.jp

hed,-peit], n. のうま.
ed, a. 愚鈍な, のろまな.
'ad-dress [adrés]. n. ① 話しかけの演; 請願, 提案. ② 住所, 所番地; あて先. ③ 応対, 話しぶり. ④ 手ぎわ, 巧妙. ⑤ 愛, くだき. ⑥ 【法】 判事解任要請. ⑦ the A- (イギリス議会の勅語奉答文. funeral ~ 弔辞. opening [closing] ~ 開[閉]演. change of ~ 住所変更. me ~ 応対のじょうずな人. address give [deliver] an address ~ 演ずる. agural address ~ 演ずる. one's addresses to a lady ~ 求婚する. with address ~ よく.
——, vt. ① 話しかける; 演説を出す. ② 言い寄る, くだく. ③ 宛てる. ④ 従事する. 【法】 請する. ~ her as Mary (訂



編集・発行人 / 内山 泰正

びくびく通信

～事前期待の一步先～



これは昔の話。私の高校2年生の成績表には世界史「106点」と書かれています。この6点は生意気盛りの私に少なからず意識の革命をもたらしました。世の中を、大人を信じてもいい気持ちになった6点でありました。加点法で採点された成績の素点は106。調整が入るかと思っていましたが、そのままの106点。満点は超えられる、そしてそれはあくまでも相対値だと感じました。実はその成績表は私の嫁入りについてきてもいいぞというアイテムとして選ばれて、30年たった今

も私といっしょにいる。それと同時にこの話を思い出すと口角泡を飛ばしながらオスマントルコについて解説していた今はなき恩師の顔も明確に浮かんでくる。ね、仕事ってこんなことなんじゃないでしょうか？自分に寄せられる期待とイコールが満点だとすると、少しそれを超えることが出来る。それがリピートにもつながるし、信頼も寄せていただけ。求められたことをきちんと返し、少し先に行く。これからも106点の私でいましょう。「事前期待の一步先」

細見かなざわ

～其の十四「北國街道」～

金沢の地銀といえは北國銀行、地元紙といえは北國新聞である。両社とも「国」は旧字の國を表記し「きたぐに」と発音せず、「ほつこ」と呼ぶ。北國とはかつて都であった京からみて北にあつた国である。

北國街道は、京から琵琶湖の東岸、近江、湖北、越前を経由し加賀へと続き、金沢から先(北國下街道)は越中、越後、信濃、そして江戸へと至る。江戸時代に参勤交代で主に使われたのは下街道であるが、政治の中心が江戸へ移っても上洛への道が物流の幹線であった。近江、越前、加賀を通る上街道は現在の8号線とほぼ重なるようであるが、織物の産元、機場が集中し、その関連で今でも繊維や精練関係の企業が多い。うだつのあがつた商家が残る地域もあり、往時の街道のにぎわいかりがしのばれる。その象徴的な町筋を観光地として残しているのが長浜の黒壁スクエアであろう。金沢城下と郡部の境、有松近辺の街道筋には、つい最近まで麹味噌、昆布、竹、餅菓子などを扱う店が軒を連ねていたが、郊外へ移転したり、後継者がいなくなったりしてだいぶ町並みがさみしくなっている。そんな中で一軒奮闘しているのが、加賀野菜の元締め文久元年創業の松下種苗店である。街道の物流が大きく変わることも、「地産地消」の仕組みが根付いていれば安心である。

〒1事業部 宮本由美子

全国サポート展開中!!



お電話ください! ☎ 0120-47-2533

アドレス・本社	〒921-8041 金沢市泉1-1-7	Tel.076-247-2533
東京	〒169-0075 新宿区高田馬場3-25-3	Tel.03-5330-6873
兵庫	〒664-0001 伊丹市荒牧5-13-8-402	Tel.072-777-6564
富山	〒939-8066 富山市朝菜町5-10	Tel.076-423-5380
東海	〒466-0022 名古屋市昭和区塩付通3-15	Tel.052-842-2672
麹町サテライト	〒102-0083 千代田区麹町4-8クリスタルシティ西館	

どこまでも発話に忠実に—、どこまでも簡潔に伝わりやすく—

「テープおこし」と一口に言っても仕様は実に様々です。そのいくつかある分類のなかでも一番の分岐点は、発言の一言一句に忠実な文章にするか、それとも発言の趣旨をくんで読みやすい文章にするかという点でしょう。

一方は、たとえば発言の中で主語と述語が食い違っているにもかかわらずそのまま入力しておく、あくまでも事実記録に徹するスタイル。たとえ言い間違いであっても、その記録自体に意味のあるケースがあります。

もう一方は、発言に従いながらも不整合で冗長な「話し言葉」を簡潔にした、コミュニケーション（伝達）に配慮したスタイル。発言の一言ひとことを再現するのではなく、場合によっては簡にして要を得た新聞記事ほどの分量にするケースもあるでしょう。

同じ講演でも「テープおこし」の工程でそれぞれの仕様で仕上げると、まったく別のアウトプットになってしまいます。

簡
潔
に



● 要約（サマリー）

お好み・ご指定の分量に要約します。全文の何割ほどとご指示ください。要約の圧縮度が高くなると編集的なスタンスで内容に立ち入ることになりますが、発言者の意図はもとより、ご依頼の意向もくんで簡潔に仕上げます。用途に応じた分量にしますのでご相談ください。文字数指定ももちろんOKです。



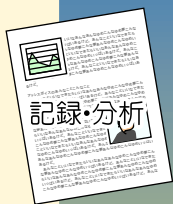
● 議事録

会議のあらましをご指定の書式でお届けいたします。同じ発言者の散らばった発言をまとめたり、また箇条書きで簡潔にしたりと、各種のご要望に応じます。従前の議事録と同じ体裁にすることも可能です。



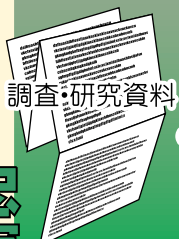
● マル整

アドレス独自の仕様。全文を7～8割に要約した、講演録向けのお奨め仕様。繰り返される言葉や滞ったセンテンスをまとめたりして読みやすい文章にします。講演を冊子にする際にはぜひご指定ください。



● 標準仕様

講演や会議の一般的な記録はこの標準仕様でOK。文末を「です・ます」もしくは「である」に整えて読みやすく、それでいて正確な記録として保存にもたえる文章です。「標準」というのは、アドレスの双方向の経験から割り出した一般的な最適解なのです。



● 生おこし

「素おこし」ともいいます。「素おこしでいいよ」とご依頼のお客さまもいらっしゃいますが、極めるとこの仕様が1番難しいのです。一般的には、「えー」「まあ」など（「フィラー」と呼んだりします）の再現が一つの目安になっていますが、ご用途に合わせて提供します。

忠
実に

● 研究素材づくり

言語学における「話し言葉」研究から、社会学などの会話分析、果ては音声認識ソフト開発まで、その素材づくりのお手伝いをします。発言をどこまでも忠実に再現するのが腕の見せどころ。なかには0.1秒未満の「間」の再現が必要とされるケースもあります。これはすでに「テープおこし」を超えている？！

ありのままの発言にもコミュニケーションにもこだわって極めた実力。どこまでも忠実に、どこまでも簡潔に伝わりやすく、アドレスはおお客様のご要望・用途に応じて、その最適なかたちをご提供します。

